

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	杉森町 (杉森)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	16.51 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	16.51 ha
② 田の面積	16.51 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	15.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	15.5 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	11.4 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	8.1 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・杉森地区の田16.3haの95%に当たる15.5haは(農事)ファームすぎのもりが耕作を引き受け、稲作・麦作を行っている。同組合員は21人であるが実際の従事者は一部の作業を行う者を含め14人程度である。そのうち、60歳未満は2人、70歳以上は8名である。小規模での経営であるため財務的にも余裕がなく、農機具類の更新が十分にできないのが現状である。また、後継者の確保についても、集落営農の引き受けている農地のうち半数が耕作者がいない状況であり、今後増加の見込みである。従って、今後地域農業を維持するためには、現地域にこだわらず新たな農地の担い手を確保する必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・水稻、小麦を主要作物としつつ、集約化を進め経費を削減する等の方策を用いて維持を図る。後継者が望めない以上、地域外の認定農業者を受け入れる。また、農業者と非農業者が混在する地域であることを鑑み、地域の生活環境、自然環境の維持に地域住民一体となって、地域全体で取り組む必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者)への農地の集積・集約化を基本とし担い手の農作業に支障のない範囲での農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	97.9	%	将来の目標とする集積率
			97.9 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地化はほぼ完了しているため、現状の維持に努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農用地の集積・集団化はほぼ完了しているため、現状の維持に努める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を中間管理機構に貸し付け、集約化することはほぼ完了している。
(3)基盤整備事業への取組
農地の大区画化・汎用化等の基盤整備についてもほぼ完了している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる防除作業は、区域内の認定農業者などへの委託を進めていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

②環境こだわり米等の生産を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻・麦・大豆	0.23 ha	ha	水稻・麦・大豆	15.36 ha	ha		
認農		水稻・麦・大豆	0.79 ha	ha	水稻・麦・大豆	0.49 ha	ha		
認農		水稻	0.32 ha	ha	水稻	0.32 ha	ha		
利用者		水稻	0.35 ha	ha	水稻	0.35 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		1.68 ha	0 ha		16.51 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)